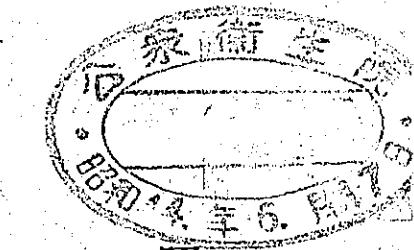


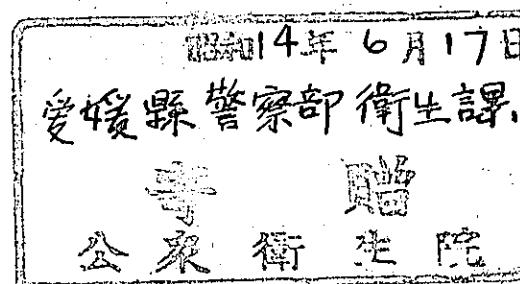
愛媛縣警察部衛生課

要覽

愛媛縣衛生要覽



昭和十四年五月

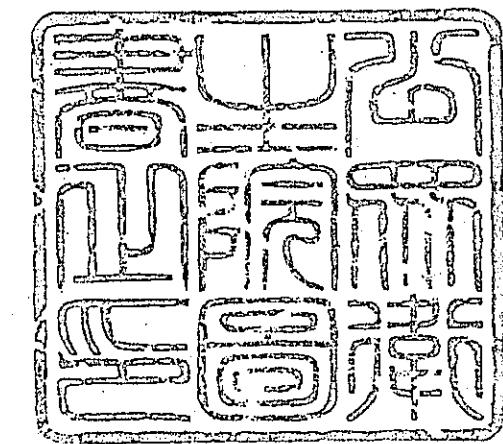


■ 国立保健医療科学院蔵書



\*10012110\*

P  
P.D.  
38



## 緒 言

本統計書は昭和十二年を中心にして既往五ヶ年乃至十ヶ年間の本縣衛生課主管事務並に他課主管事項中衛生に關係ある事項をも併せ輯録して参考としたるも勿々の間に集載したる等の關係上尙幾多の補修をするものあることを信ずるも其は年を逐ひ改補整備の豫定なり。

昭和十四年五月

愛媛縣警察部衛生課

## 愛媛縣衛生要覽目次

### 第一章 總 說

第一節 位置及地勢.....

一、位 置.....

二、地 勢.....

三、面 積.....

第二節 行政區劃.....

第三節 氣候の概要.....

### 第二章 人口動態

第一節 人口動態累年比較.....

現住又は推計人口並に現住戸數累年比較

第二節 郡市別現住人口及年齡別現住人口.....

現住人口及推計人口.....

年齡別現住人口.....

第三節 出 生.....

一、婚姻、離婚、出生、死産並死亡率比較.....

二、出 生.....



**二、健康相談所**

松山健康相談所成績

**三、結核患者收容機關**

結核患者收容機關調

**第三節 結核豫防協會消毒所利用狀況其の他**

消毒所利用消毒件數

**第四節 結核患者届出數**

警察署別結核患者届出數

結核患者届出男女別及年齢別

**(参考) 各國に於ける人口一萬に對する結核死亡率****第六章 「トラホーム」及盲人調査****第一節 「トラホーム」****一、接客業者「トラホーム」検診**

最近五ヶ年間比較接客業者「トラホーム」検診成績

**二、壯丁「トラホーム」検診**

最近五ヶ年間比較壯丁「トラホーム」検診成績

**三、工場從業者「トラホーム」検診**

最近五ヶ年間比較工場從業者「トラホーム」検診成績

**四、小學校兒童「トラホーム」検診**

最近五ヶ年間比較小學校兒童「トラホーム」検診成績

**五、中等學校生徒「トラホーム」検診**

最近五ヶ年間比較中等學校生徒「トラホーム」検診成績

**第二節 盲人調査**

盲人分布狀況

盲人失明原因調

**第七章 癪**

第一節 郡市町村別癪患者數

**第二節 年齡別癪患者數****第三節 癪患者検診指導****第四節 大島療養所入所患者數****第八章 花柳病****第一節 媚妓**

最近十ヶ年媚妓健康診斷成績

最近十ヶ年媚妓健康診斷病症別調

媚妓健康診斷成績

最近十ヶ年縣立保健病院入院患者調

## 第二節 保健組合の状況

保健組合並同組合員數調

藝妓、娼妓、給仕人血液検査成績

## 第三節 代用花柳病診療所

代用花柳病診療所取扱患者數

(参考) 一般血液検査成績表

## 第九章 精神病

### 第一節 精神病者

精神病者累年比較

### 第二節 精神病院

精神病院入院患者數調

## 第十章 寄生蟲

### 第一節 寄生蟲検査成績

本縣と全國との寄生蟲有卵者比較

自大正九年至昭和十一年寄生蟲卵検査成績

學校其の他の團體の委託に依る寄生蟲卵検査成績

### 第二節 寄生蟲驅除

寄生蟲驅除成績

## 第十一章 防疫

### 第一節 法定傳染病發生狀況

第一表最近十ヶ年間各種傳染病發生數

第二表最近十ヶ年間各種傳染病死亡者數

第三表最近十ヶ年間各種傳染病患者對死亡率

第四表最近十ヶ年間各種傳染病發生月別表

第五表最近十ヶ年間各種傳染病發生郡市別表

二、 腸チフス

(イ) 腸チフス患者累年比較

第六表最近十ヶ年間全國對本縣の「腸チフス」患者發生率(人口一萬對)比較圖表

(ロ) 腸「チフス」死亡率

(ハ) 郡市別發生狀況

第七表最近十ヶ年間腸「チフス」患者郡市別發生數

(ニ) 月別發生狀況

第八表自昭和三年至昭和十二年十ヶ年間本縣腸チフス赤痢チフテリア發生月別表

(ホ) 患者年齡別

第九表最近十ヶ年間腸「チフス」患者年齢別表	110
(イ) 患者診定期間	111
(ト) 患者發病—治癒期間並に發病—死亡期間	111
第十表自昭和八年至同十二年五ヶ年間本縣發生腸「チフス」同疑似症の經過比較	111
第十一表自昭和八年至同十二年五ヶ年間に於ける腸「チフス」及同疑似症經過表	111
<b>三、赤痢(含疫痢)</b>	
(イ) 赤痢患者累年比較	113
第十二表最近十ヶ年赤痢(含疫痢)患者人口對比	114
第十三表最近十ヶ年赤痢及疫痢患者對死亡率表	114
(ロ) 月別發生狀況	116
<b>(ハ) 疫 痢</b>	
第十四表自昭和八年至同十二年五ヶ年間赤痢(含疫痢)患死狀況	116
第十五表最近五ヶ年間疫痢患者の年齡別	118
第十六表最近五ヶ年間疫痢死亡者年齡別	119
<b>四、「チフテリア」</b>	
(イ) 「チフテリア」患者發生概況	120
(ロ) 郡市別發生狀況	120
第十七表最近十ヶ年間「チフテリア」郡市別患死表	120
(ハ) 月別發生狀況	121
<b>第五節 流行性疾患</b>	
第十八表最近十ヶ年間「チフテリア」月別發生表	122
(ニ) 「チフテリア」患者發病—死亡期間	122
第十九表最近十ヶ年間「チフテリア」死者、發病—死亡日數表	123
<b>五、猩紅熱、流行性腦脊髓膜炎、痘瘡、「バラチフス」</b>	
(一) 猩 紅 熱	124
(1) 流行性腦脊髓膜炎	124
(二) 痘 瘡	124
(三) 痘 瘡	124
(四) パラチフス	124
<b>第二節 防 疫 施 設</b>	
一、病原體保有者	125
第二十表細菌檢查成績表	125
二、腸「チフス」豫防注射及內服ワクチン	126
第二十一表腸「チフス」ワクチン注射施行表	126
<b>第三節 地 方 病</b>	
一、流行性腦炎	126
第二十二表最近十ヶ年間流行性腦炎患死數	126
第二十三表最近十ヶ年間流行性腦炎月別患死數	126
二十四表最近十ヶ年間流行性腦炎年齡別患死數	126

## 二、「ワイル」氏病

第二十五表長近八ヶ年間「ワイル」氏病患者職業別表

[三] [三]

## 第二十六表最近「ワイル」氏病患者男女別表

[四] [四]

## 第二十七表最近八ヶ年間「ワイル」氏病患者年齢別表

[五] [五]

## 第二十八表最近八ヶ年間「ワイル」氏病郡市別發生表

[六] [六]

## 第四節 種痘

一、第一期種痘

[七] [七]

二、第二期種痘

[八] [八]

三、臨時種痘

[九] [九]

## 第一期種痘成績表

[十] [十]

## 第二期種痘成績表

[十一] [十一]

## 第五節 傷病院、隔離病舍及隔離所

[十二] [十二]

## 第十二章 藥事

[十三] [十三]

## 第一節 藥劑師及藥局

[十四] [十四]

## 第二節 藥業者

[十五] [十五]

## 第三節 藥品巡視

[十六] [十六]

## 藥品巡視成績

[十七] [十七]

## 第四節 買賣藥

[十八] [十八]

## 賣藥營業者數

[十九] [十九]

## 第五節 買藥檢查

[二十] [二十]

## 賣藥檢查成績

[二十一] [二十一]

## 第六節 毒物劇物營業者

[二十二] [二十二]

## 毒物劇物營業者數

[二十三] [二十三]

## 第七節 藥用阿片受拂狀況

[二十四] [二十四]

## 最近五ヶ年間藥用阿片受拂

[二十五] [二十五]

## 第八節 藥用植物

[二十六] [二十六]

## 藥用植物收穫狀況

[二十七] [二十七]

## 第九節 麻藥慢性中毒者調

[二十八] [二十八]

## 第一節 上水道

[二十九] [二十九]

## 上水道布設調

[三十] [三十]

## 第二節 飲食物其他

[三十一] [三十一]

## 一、清涼飲料水製造

[三十二] [三十二]

## 清涼飲料水製造量

[三十三] [三十三]

## 二、飲食物其他の物品検査

[三十四] [三十四]

## 飲食物其の他の物品検査成績

三、水 雪 ..... [無] [無]

人造氷製造營業者數並に製造量

第三節 牛乳及山羊乳 ..... [無] [無]

一、牛乳營業者 牛乳營業者數 ..... [無] [無]

二、牛乳搾取 牛乳搾取 ..... [無] [無]

最近五ヶ年間比較搾取場、頭數並に搾乳量

最近五ヶ年間比較搾乳量並にバター製造量

三、山羊乳 山羊乳 ..... [無] [無]

最近五ヶ年間比較搾乳場、頭數並に搾乳量

四、牛乳細菌検査 牛乳細菌検査 ..... [無] [無]

牛乳細菌検査成績 (其1) 牛乳細菌検査成績 (其1) ..... [無] [無]

第四節 溫 泉 溫泉 ..... [無] [無]

一、溫 泉 溫泉 ..... [無] [無]

二、鑛 泉 鑛泉 ..... [無] [無]

第五節 便所改良 便所改良 ..... [無] [無]

- 一、淨化裝置を有する便所設置狀況 ..... [無]  
 二、淨化裝置を有する便所數 ..... [交]  
 二、改良便所 改良便所 ..... [交]  
 改良便所設置數 ..... [交]

## 第十四章 獣畜衛生

第一節 屠畜 廉屠畜 ..... [天] [天]

一、屠畜場數 屠畜場數 ..... [天] [天]

二、屠畜頭數 屠畜頭數 ..... [天] [天]

最近五ヶ年間屠畜頭數

三、屠畜頭數及肉量 屠畜頭數及肉量 ..... [充] [充]

屠場別屠畜頭數及肉量

## 第二節 畜牛結核病

畜牛結核病検査累年成績

第三節 狂犬病 恐水病豫防注射施行成績

野犬藥殺成績

## 第十五章 醫療機關

第一節 醫師及齒科醫師	一、醫 師 現 在 數	一七
二、齒 科 醫 師	齒科醫師現在數	一七
第二節 產婆及看護婦	產婆及看護婦現在數	一七
無 產 婆 村 調	無 產 婆 村 調	一七
第三節 鍼術、灸術、按摩術並に柔道整復術業者	鍼術、灸術、按摩術並に柔道整復術業者數	一七
第四節 療 術 行 為 者	療 術 行 為 者	一七
第五節 診 治 所	診 治 所	一七
一、診 治 所 總 數	診 治 所 總 數	一七
二、齒 科 診 治 所	齒 科 診 治 所	一七
三、縣 營 診 治 所	縣 營 診 治 所	一七
第五節 無 醫 村	無 醫 村	一七

無 醫 村 調  
二、僻陬村醫師設置狀況

第六節 醫 療 救 護

醫療救護成績

第七節 字 和 島 保 健 所

自昭和十三年十月至昭和十四年二月事業成績

第十六章 卫生思想普及其他

第一節 栽 培 改 善

第二節 活動寫真並に衛生展覽會による宣傳

衛生活動寫真映寫會開催狀況

第三節 衛生講話會並に衛生協議會開催狀況

第四節 衛生協議會並に衛生組合

【附】各種試驗施行狀況

最近五ヶ年間比較各種試驗施行狀況

第十七章 愛媛縣國民體位向上對策

# 愛媛縣衛生要覽

## 第一章 總 說

### 第一節 位置及地勢

#### 一、位 置

本縣は南海道の西北部を占め、東經百三十三度四十四分乃至百三十二度、北緯三十四度十九分乃至三十二度四十八分に位す。東は徳島、香川二縣に接し西は豐後水道を隔て宮崎、大分縣に對し、南は高知縣と連る、北は瀬戸内海にして岡山、廣島山口の三縣と相臨めり。

#### 二、地 勢

地形狹長にして東北より西南に長く延長六十餘里、幅員一樣ならずと雖も二十里より六七里の間を出入す。

南方は山嶽蜿蜒として障屏の如く伊豫、土佐の間に於て天然の境界をなす。其支脈は縣内に連亘し峯巒起伏して平坦部極めて少なく約山地八分平地二分の比なり、山嶽の著名なるもの無しと雖も海拔六千尺以上のものに石鎚山、二の森、瓶ヶ森、筈ヶ峯、筒城山あり、多く土佐との國境に聳立す。

河川中大なるものは肱川にして源を東宇和郡に發し迂回して喜多郡に入り長濱町を経て瀬戸内海に注ぐ、其の流程二十餘里其下流十二里の間は舟楫を通す。物資運輸の便を有するは縣下唯本川あるのみなり。其の他重信川、加茂川、蒼社川、中山川あるも僅に灌漑の用を爲すに過ぎず、されど一般河川は急流に富み近時水力發電に利用せらるもの多きを加ふ。

沿海は大小の島嶼に富み其の數二百餘に達す其大なるものは大三島、大島、伯方島、忽那島、興居島等なり。

海岸線の延長三百十里、岬灣の出入頗る多く就中佐田岬は遠く豊後海に突出し、其の長さ十二里大分縣佐賀關と相對す。

### 三、面 積

本縣の面積は五、六六七方杆、二六、(三六七、九四三四)にして、全國中第二十六位に在り、全國平均の八、一三四方杆二三に達せずして、三重、山口、千葉、愛知の諸縣に近似す。

### 第二節 行 政 區 劃

縣内を五市、十二郡、三十二町、二百二十九村に分つ、一支部置かれ、之が管轄區域に二郡（北宇和郡、南宇和郡）四町三十四村あり全縣下を十七警察署に分ち管轄す。

#### 警察署別管轄區分

松山警察署	〔松山市溫泉郡ノ内〕	一町	一九村
三津警察署	〔溫泉郡ノ内〕	二町	一六村
今治警察署	〔今治市越智郡ノ内〕	三町	三二村
玉生川警察署	〔周桑郡〕	三町	一四村
西條警察署	〔新居郡ノ内〕	二町	六村
角野警察署	〔宇越新居郡濱市宇摩郡ノ内〕	一部落	〔四坂島村八幡濱市喜多郡ノ内〕
三島警察署	〔宇摩郡ノ内〕	三町	二一村
久万警察署	〔上浮穴郡伊豫郡〕	一町	一三村
郡中警察署	〔喜多郡ノ内〕	二町	一〇村
大洲警察署	〔喜多郡ノ内〕	二町	一三村
内子警察署	〔喜多郡ノ内〕	二町	一〇村
八幡濱警察署	〔西宇和郡〕	一町	一九村
卯之町警察署	〔東宇和郡〕	二町	二一村
野村警察署	〔東宇和郡ノ内〕	二町	七村
宇和島警察署	〔北宇和郡ノ内〕	二町	五村
松丸警察署	〔南宇和郡〕	二町	二二九村
御莊警察署		五市十二郡	三二町
計		一七	

### 第三節 氣候の概要

氣候概して溫和なるも氣温は地方により乾濕の差著しく、松山地方は平均氣温攝氏十五度内外なるも四國山系地方は寒冷なり、之に反し宇和地方は平均氣温十六度餘にして比較的溫暖なり。

松山測候所發表に係る昭和十二年中の氣象大要を記述すれば、最高氣温は七月八日に於ける三十四度七分、最低氣温は一月十六日に於ける零下一度五分にして一ヶ年平均溫度は十五度七分なり。

天候日數につき見るに快晴日は一ヶ年を通じて僅かに三十日に過ぎず雨天（雨量一耗以上を雨天と見做す）日數は百五十八日を算し、一ヶ年雨量合量は千三百四十四耗三を示し一日平均雨量は三耗六八に該る。

## 第一章 人口動態

### 第一節 人口動態累年比較

最近十ヶ年間（自昭和元年至昭和十年）に於ける本縣人口動態は左表の如く昭和元年の總人口百十万六千七百人に對し昭和十年の國勢調査に於ては百十六万四千八百九十八人にして、十ヶ年間の增加人口五万八千九十八人なり。

現住戸數一に付現住人口の割合は昭和十年國勢調査によれば五・〇五にして昭和元年以來の各年に比し稍低率を示す。

#### 現住又ハ推計人口並ニ現住戸數累年比較

年次	現住人口		現住戸數	現住戸數一付現住人口	現住人口
	男	女			
昭和元年	五八,000	五八,000	二一,七九	二,九三	二,九三
二年	五九,500	五九,500	二一,九一〇	二,〇三	二,〇三
三年	六〇,100	六〇,100	二二,〇九〇	二,一七	二,一七
四年	六〇,700	六〇,700	二二,二七〇	二,三一	二,三一
五年	六一,300	六一,300	二二,四五〇	二,四六	二,四六
六年	六一,900	六一,900	二二,六三〇	二,六一	二,六一
七年	六二,500	六二,500	二二,八一〇	二,七五	二,七五
八年	六三,100	六三,100	二二,九九〇	二,九〇	二,九〇
九年	六三,700	六三,700	二三,一七〇	三,〇八	三,〇八
昭和十年	六四,300	六四,300	二三,三五〇	三,二七	三,二七
昭和十一年	六四,900	六四,900	二三,五三〇	三,四六	三,四六
昭和十二年	六五,500	六五,500	二三,七一〇	三,六五	三,六五
昭和十三年	六六,100	六六,100	二三,八九〇	三,八四	三,八四
昭和十四年	六六,700	六六,700	二四,〇七〇	三,〇三	三,〇三
昭和十五年	六七,300	六七,300	二四,二五〇	二,二二	二,二二
昭和十六年	六七,900	六七,900	二四,四三〇	一,一〇三	一,一〇三
昭和十七年	六八,500	六八,500	二四,六一〇	一,一〇三	一,一〇三
昭和十八年	六九,100	六九,100	二四,七九〇	一,一〇三	一,一〇三
昭和十九年	六九,700	六九,700	二四,九七〇	一,一〇三	一,一〇三
昭和二十年	七〇,300	七〇,300	二五,一五〇	一,一〇三	一,一〇三

### 第二節 郡市別現住人口及年齢別現住人口

昭和十年國勢調査による本縣郡市別人口を示せば左表の如くにして一方里に付人口密度高きは松山市の七萬一千六百八十九にして今治市の六萬六百三十七人之に次ぐ、郡部中密度最も高きは西宇和郡の四千七百二十二人にして新居郡の四千四百二十九人之に次ぐ、人口密度最も稀薄なるは上浮穴郡の七百八十五人にして北宇和郡の千九百六十九人之に次ぎ、本縣に於ける平均密度は一方里に付三千百七十人なり。

年齢別に依る現住人口中最も多きは〇一四歳（男八一、二四四人、女七九、三一四人、計一六〇、五六八人）にして五十九歳（男七六、六八六人、女七、一五五人、計一五一、八四一人）之に次ぎ年齢の增加に伴ひ人口漸次減少を示せり。

#### 現住人口及推計人口

郡市別	昭和十年國勢調査			昭和十一年推計人口		
	男	女	計	戸數	付人口 一方里ニ	男
新居郡	七一,九七	七一,九五	一四五,九二	二五,〇三	三、六九	七一,〇〇
周防郡	七〇,〇三	七〇,〇三	一四〇,〇六	二二,〇九	四、四九	七〇,〇〇
越智郡	七〇,〇三	七〇,〇三	一四〇,〇六	二二,〇九	四、四九	七〇,〇〇
温泉郡	七〇,〇三	七〇,〇三	一四〇,〇六	二二,〇九	四、四九	七〇,〇〇
桑原郡	七〇,〇三	七〇,〇三	一四〇,〇六	二二,〇九	四、四九	七〇,〇〇
智頭郡	七〇,〇三	七〇,〇三	一四〇,〇六	二二,〇九	四、四九	七〇,〇〇
郡	七〇,〇三	七〇,〇三	一四〇,〇六	二二,〇九	四、四九	七〇,〇〇
市	七〇,〇三	七〇,〇三	一四〇,〇六	二二,〇九	四、四九	七〇,〇〇
町	七〇,〇三	七〇,〇三	一四〇,〇六	二二,〇九	四、四九	七〇,〇〇
村	七〇,〇三	七〇,〇三	一四〇,〇六	二二,〇九	四、四九	七〇,〇〇
大字	七〇,〇三	七〇,〇三	一四〇,〇六	二二,〇九	四、四九	七〇,〇〇
小字	七〇,〇三	七〇,〇三	一四〇,〇六	二二,〇九	四、四九	七〇,〇〇

一五	一九	二四	八三〇	六九	五〇	二五八	五〇	二九
一〇	一一	二四	一四八	六八	四三	五八三	四三	一五七
二五	一九	二九	三七、八八一	六八	三九、一五七	三九、一五七	三五、二〇九	三五、二〇九
三〇	一三四	三九	三五、五一〇	六八	三三、五七八	三三、五七八	二六、七一五	二六、七一五
三五	一三九	四四	二八、一一六	五三	二五、五一七	二五、五一七	二五、五三七	二五、五三七
四〇	一四四	四五	一五、五一七	五四	二四、五三三	二四、五三三	二五、六九一	二五、六九一
四五	一四九	五〇	一九、三七二	五九	二三、〇〇一	二三、〇〇一	二四、三〇〇	二四、三〇〇
五〇	一五四	五〇	一九、三七二	五九	一九、三七二	一九、三七二	一五、九九七	一五、九九七
六〇	一六四	六〇	一三、九三三	六九	六五、六七〇	六五、六七〇	六五、六九一	六五、六九一
六五	一六九	六〇	七〇、二三八	七〇	七〇、二三八	七〇、二三八	七〇、二三八	七〇、二三八
七〇	一七四	七〇	六、〇八六	七〇	五、九三六	五、九三六	五、九三六	五、九三六
七五	一七九	七〇	三、六八一	七〇	七、七六五	七、七六五	一、一六四	一、一六四
八〇	以上	八〇	五八九、二七一	八〇	九、六一七	九、六一七	九、六一七	九、六一七
合	計	合	五七五、六二七	合	五八九、二七一	合	五八九、二七一	合

年齡別現住人口

(昭和十年國勢調査)

最近十ヶ年間に於ける婚姻、離婚、出生、死産並に死亡の各項に付全國と本縣との統計を比較するに、十ヶ年間平均人口千に對する比率は、婚姻に在りては全國平均七・七七に對し本縣は八・四二を示し、離婚は〇・七六に對し一・一六にして何れも高率なり。

出生は全國平均三二・一五に對し三三・〇一にして稍高率なり。死産に就て見るに全國平均は一・七七にして本縣の一・五六は稍低率なり。死亡は全國平均一八・四八に對し本縣は一八・四四にして殆んど近似す。

### 全 國

年 次	婚 姻		離 婚		出 生		死 産		死 亡		出生ノ増シ	婚姻ノ離婚	出生一死産一死亡	人口 千ニ付	死亡ノ増シ出生ノ對
	昭和	二年	三	四	五	六	七	八	九	十					
昭和二年	四六七・八〇	四〇・六三	一・七〇	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九							
昭和三年	四六九・五九	四一・一〇	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九								
昭和四年	四七一・四〇	四一・一〇	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九								
昭和五年	四七三・六七	四一・一〇	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九								
昭和六年	四七五・九四	四一・一〇	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九								
昭和七年	四七八・二一	四一・一〇	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九								
昭和八年	四八〇・四八	四一・一〇	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九								
昭和九年	四八二・七五	四一・一〇	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九								
昭和十年	四八五・一〇	四一・一〇	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九								
昭和十一年	四八七・四五	四一・一〇	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九								
計(又ハ平均)	四八九・八九	四一・一〇	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九	一・一九								

### 本 縣

年 次	婚 姻			離 婚			出 生			死 産			死亡ノ増シ	婚姻ノ離婚	出生一死産一死亡	人口 千ニ付	死亡ノ増シ出生ノ對
	昭和	二年	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	計(又ハ平均)					
	九・三																
昭和二年	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九												
昭和三年	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九												
昭和四年	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九												
昭和五年	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九												
昭和六年	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九												
昭和七年	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九												
昭和八年	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九												
昭和九年	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九												
昭和十年	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九												
昭和十一年	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九	一・三九												

### 出 生

(イ) 生産——昭和十二年中に於ける本縣本籍人生産總數は三一・四九二人にして前年に比し一・九六二人を増したり。人口千に對する生産率は二六・八二にして全國平均(昭和十一年)二九・九二に比し低率なり。之を郡市別に就て見るに周桑郡(三四・七五)最高にして上浮穴郡(三一・九四)越智郡(三一・六五)之に次ぐ。生産率最も低きは今治市(一四・四六)

にして松山市（一五・五八）宇和島市（一七・四八）之に次ぎ概して郡部に於ける生産率高きに反し市部は生産率低し。

生産百に對する公生子、私生子の比例を見るに、公生子九八・三六に對し私生子は一・六四にして、私生子の生産率比較的高きは上浮穴（三・三〇）東宇和（一・六五）喜多（二・四〇）の各郡なり。

豫地方は何れも死産率高き傾向あり。死産百に對する公生子、私生子の比率を見るに公生子八八・五四私生子一一・四六にして之を前年の公生子死産八六・八で比し稍高率なり。

公生子百に對する生産、死産の率を比較するに生産九五・八六に對し死産は四・一四にして死産率極めて低きに反し、私生子に在りては生産七四・八五死産二五・一五の比例を示す。

生産並死産（本籍人）昭和十二年

新居郡		宇摩郡		上浮穴郡		伊豫郡		喜多郡		東宇和郡		南宇和郡		北宇和郡		西宇和郡		宇治島市		八幡濱市		新居和郡		宇治和郡		宇和郡		喜多郡		伊豫郡		喜多郡		宇摩郡		新居郡	
昭和十一年		喜多郡		宇治和郡		宇治島市		宇和郡		宇治和郡		宇和郡		宇治和郡		宇和郡		宇治島市		八幡濱市		新居和郡		宇治和郡		宇和郡		喜多郡		伊豫郡		喜多郡		宇摩郡		新居郡	
昭和十二年		喜多郡		宇治和郡		宇治島市		宇和郡		宇治和郡		宇和郡		宇治和郡		宇和郡		宇治島市		八幡濱市		新居和郡		宇治和郡		宇和郡		喜多郡		伊豫郡		喜多郡		宇摩郡		新居郡	
昭和十三年		喜多郡		宇治和郡		宇治島市		宇和郡		宇治和郡		宇和郡		宇治和郡		宇和郡		宇治島市		八幡濱市		新居和郡		宇治和郡		宇和郡		喜多郡		伊豫郡		喜多郡		宇摩郡		新居郡	
昭和十四年		喜多郡		宇治和郡		宇治島市		宇和郡		宇治和郡		宇和郡		宇治和郡		宇和郡		宇治島市		八幡濱市		新居和郡		宇治和郡		宇和郡		喜多郡		伊豫郡		喜多郡		宇摩郡		新居郡	
昭和十五年		喜多郡		宇治和郡		宇治島市		宇和郡		宇治和郡		宇和郡		宇治和郡		宇和郡		宇治島市		八幡濱市		新居和郡		宇治和郡		宇和郡		喜多郡		伊豫郡		喜多郡		宇摩郡		新居郡	
昭和十六年		喜多郡		宇治和郡		宇治島市		宇和郡		宇治和郡		宇和郡		宇治和郡		宇和郡		宇治島市		八幡濱市		新居和郡		宇治和郡		宇和郡		喜多郡		伊豫郡		喜多郡		宇摩郡		新居郡	
昭和十七年		喜多郡		宇治和郡		宇治島市		宇和郡		宇治和郡		宇和郡		宇治和郡		宇和郡		宇治島市		八幡濱市		新居和郡		宇治和郡		宇和郡		喜多郡		伊豫郡		喜多郡		宇摩郡		新居郡	
昭和十八年		喜多郡		宇治和郡		宇治島市		宇和郡		宇治和郡		宇和郡		宇治和郡		宇和郡		宇治島市		八幡濱市		新居和郡		宇治和郡		宇和郡		喜多郡		伊豫郡		喜多郡		宇摩郡		新居郡	

最近五六年間比較用別生產及死產

月別	生産		死産		産業	
	昭和十二年	十一年	十年	九年	八年	昭和十二年
一月	三、九九	三、九九	三、八三	三、八三	二、五三	一、九九
二月	三、〇八	三、〇八	三、〇六	三、〇六	一、九九	一、九九
三月	三、七〇	三、七〇	三、六九	三、六九	一、九九	一、九九
四月	三、〇九	三、〇九	三、〇八	三、〇八	一、九九	一、九九
五月	三、〇九	三、〇九	三、〇八	三、〇八	一、九九	一、九九
六月	三、〇九	三、〇九	三、〇八	三、〇八	一、九九	一、九九
七月	三、〇九	三、〇九	三、〇八	三、〇八	一、九九	一、九九
八月	三、〇九	三、〇九	三、〇八	三、〇八	一、九九	一、九九
九月	三、〇九	三、〇九	三、〇八	三、〇八	一、九九	一、九九
十月	三、〇九	三、〇九	三、〇八	三、〇八	一、九九	一、九九
十一月	三、〇九	三、〇九	三、〇八	三、〇八	一、九九	一、九九
十二月	三、〇九	三、〇九	三、〇八	三、〇八	一、九九	一、九九

死體存於

昭和十一年中に此を考したる房仲綱斐（列傳を含む）は、一九五四年に「前生に比し四〇〇体を減らす」。

前記の比密を算て別に見れば木山(一〇・六四)、清瀬(二・三三)、多摩川(一・九〇)等の山間部に於ては火葬數極めて少數なり。多きに反し、南宇和郡(八・二三)、北宇和郡(一〇・七六)、上浮穴郡(一一・六〇)等の山間部に於ては火葬數極めて少數なり。

一四

第三章 死因統計

## 第一節 死亡原因累年比較

昭和十一年中本縣人の死亡者総數は二二二万三千にして人口一萬に對する死亡率は二二・九にして前年の二十七・二%以上

し稍高率なり。之を昭和十一年中の全國に於ける人口一萬に對する死亡率と比較するに六・九高しく

今之を呼吸器の結核のみに就て見るも死亡者數は一、九二九人を算し、人口一萬に對する比率は一六・四九にして、老衰の一八・〇〇肺炎の一七・八五で次ぎ第三位の高位に在り。

死亡原因たり。

本縣人死因統計

赤痢及痘瘡		流行性感冒	百日咳	麻疹	腸チフス	
男	女	男	女	男	女	昭和八年
先	先	元	元	春	全	
穴	豊	臺	四	充	合	
毛	三	西	全	元	七	
1.26	1.06	0.63	0.75	1.10	1.46	二八口萬付
101	三	六	三	西	一〇六	男
二	二	四	四	全		女
三	三	六	七	三	七	計
1.82	2.21	0.68	0.60	0.98	1.64	二八口萬付
100	豊	西	五	四	三	男
三	三	三	七	四	先	女
三	夫	吉	三	公	三	計
1.81	0.65	0.60	1.05	0.84	1.90	二八口萬付
穴	全	豊	全	老	三	男
全	老	四	一	西	二	女
五	一	老	一	三	三	計
1.29	1.50	0.81	1.64	1.12	1.87	二八口萬付

胃及十二指腸潰瘍											
下痢腸炎及腸潰瘍											
腎臟炎											
其 他	不 慮 之 傷 害	自 老 弱 質	先 天 性 弱 質	產 婦 熱 及 妊娠 中	毒	腎 臟 炎	脫 腸 及 腸 管 閉 塞	下 痢 腸 炎 及 腸 潰 瘍	胃 及 十二 指 腸 潰 瘍		
計											
182.6	34.68	4.64	2.12	17.97	9.83	0.27	7.32	0.92	17.98	1.12	
180.6	32.91	4.27	2.05	17.94	9.97	0.36	7.35	0.88	14.15	1.43	
172.8	32.05	4.78	1.92	16.90	8.91	0.39	7.42	9.10	13.54	1.40	
181.9	33.73	4.51	2.01	18.00	9.50	0.35	6.74	1.00	13.31	1.48	

## 第一節 郡市別死因調査 (昭和十年)

本表は昭和十一年十一月実施せられたる「結核豫防國民運動振興週間」の附帶事業として各市町村をして昭和十年中の死亡者に就き之が死亡原因を調査せしめたる成績にして、死亡員數は同年中に市町村に於て認許したる埋火葬認許數(遺骨の埋葬を除く)に依りたるものなり。

(一) 死亡者數は男一万二百九十五人、女九千八百十人、計二萬百五人にして人口一萬に對する死亡の比例は一七・二六にして同年中の全國平均の一六・七八に比し高率を示す。

(二) 郡市別に依る死亡率を比較するに最高位は東宇和郡の一九・一七にして西宇和郡の一八・五一之に次ぎ北宇和郡の一八・四六第三位に在り。死亡率最低位なるは新居郡の一四・八〇にして周桑郡の一五・六五之に次きて低く第三位は上浮穴郡の一五・六五なり。

市部に於ける死亡率は松山市一七・一一、今治市一六・〇三、宇和島市、一八・一七、八幡濱市一七・五七にして今治市最も低く、宇和島市最も高し、之を要約するに南豫方面に於ける死亡率は東豫方面に比し一般に死亡率高きを認めらる。

(三) 死亡原因に就き見るに最高位は全結核にして死亡者數二千百三十八人を計へ人口一萬に對する比率は一八・三五にして同年内の全國平均の一九・〇九に比し稍低位に在り。併し呼吸器の結核のみに就て見れば本縣の死亡者數は一千七百六十五人にして人口一萬に對する比率は一五・一五を示し全國平均の一四・〇七に比し高率なり。

老衰は本縣人死亡原因の第二位に在り死亡者數一千九百二十四人を算し死亡率は一六・五一なり、第三位は脳出血、脳栓塞及脳血栓による死亡にして死亡者數は一千五百七人死亡率は一五・〇七なり。

其の他下痢及腸炎(一歳未満及二才以上を含したるもの)肺炎等は何れも死亡原因の主要なるものなり。

### 昭和十年郡市別死因調査

(死亡員數ハ同年中ニ於ケル)  
(埋火葬認許數ニ依ル)

(九) (八) (七) (六) (五) (四) (三) (二) (一)									
赤	流	チ	百	猩	麻	痘	發	再	腸
痢	行	及	性	感	疫	リ	フ	テ	チ
痢	行	及	性	感	疫	リ	フ	テ	チ
同	ア	咳	熱	疹	瘡	ス	チフス及バラチフス	チフス	チフス
13	8	2	7	6	6	29	29		
15	3	1	7	7	7	28	28		
28	11	3	14	13	13	57	57		
5	3	4	3	6	6	14	14		
4	13	1	3	12	12	6	6		
9	16	5	6	13	13	20	20		
	3	3	1	1	1	5	6		
	2	2	1	1	1	4	4		
	5	2	4	2	2	9	10		
	6	1	7	5	3	3	3		
	12	1	6	4	4	4	4		
	18	2	13	9	7	7	7		
	2	3	2	2	1	9	9		
	6	1	5	2	2	9	9		
	8	3	3	7	3	18	18		
	4	3	1	1	1	1	1		
	3	5	1	2	2				
	7	8	1	3	3	1	1		
	6	3	1	3	3	5	5		
	15	3	3	1	1	4	4		
	21	3	4	3	4	9	9		
	15	4	3	4	1	5	5		
	10	4	4	4	1	1	1		
	25	8	3	8	2	6	6		
	12	2	2	3					
	15	1	3	2	3	1	1		
	27	1	5	4	6	1	1		
	7	7	2			1	1		
	4	8	1	2		1	1		
	11	15	1	4		2	2		
	4	3	2	9	1	9	9		
	7	3	2	4		6	6		
	11	6	4	13	1	2	15	15	
	2	4	1			5	5		
	5	1			1	4	4		
	2	9	1	1	1	9	9		
	12	1	1	1	1	9	11		
	7	2	5	2	2	12	12		
	19	1	2	6	3	21	23		
	1	3	1		6	15	15		
	2	1	3	3	6	15	15		
	3	1	6	4	12	30	30		
	3	2	7	1		6	6		
	11	1	1	6	4	1	1		
	14	1	3	13	1	4	1	7	7
	2	1	1	1		3	3		
	3		2		5				
	5	1	1	3	5	3	3		
	94	44	29	48	2	34	119	122	
	114	47	28	51	51	1	96	96	
	208	91	57	99	2	85	215	218	
	1.79	0.78	0.49	0.85	0.02	0.73	0.01	1.85	1.87
	一口人付に萬								